

令和3年度事業実施報告

1. 概況

中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界を席卷し、昨年度も、新たな変異株の続発とその感染爆発から、人流の制限に伴うインバウンド、外食需要の落ち込み、物流の停滞から輸入食肉価格の高騰など食肉業界にとって厳しい状況が続きました。加えて、令和4年に入ってから、年初からのロシアの侵攻等ウクライナをめぐる情勢から、原油、穀物価格等諸物価の値上がりが続くなど、昨年度に続き深刻な影響を受ける激動の年となりました。

こうした中、(一社)日本食肉協会(以下、協会という。)は、コロナ禍の下、ライン等を活用しコロナ関連対策等について随時、迅速な周知に努めるとともに、全国会議のWEB開催をはじめ、事業推進委員会等のリモート会議を開催(計9回)し、会員相互の情報交換・交流に努めました。

また(公社)全国食肉学校との連携の下にCBT方式により再開された「お肉検定」の普及啓発に努めるとともに、(一社)食品需給研究センターと協力し、引き続き、全国規模での小売店価格調査のため、調査店舗の募集・選定等を行いました。

さらに、協会会員に対して、「全国食肉ニュース」の発行、配布を通じて協会の活動状況等を定期的に情報提供するとともに、協会のホームページの内容の充実と情報発信や電子メールにより迅速な情報提供を行うなど、食肉業界の一翼を担う一般社団法人として、地道かつ積極的な取組を進めてきました。

2. 事業実施概要

食肉に対する消費者の信頼確保、食肉販売業者の後継者の育成確保及び食肉販売業の活性化を促進するため、次の事業を行った。

(1) 食肉小売機能高度化推進事業(全国食肉事業協同組合連合会事業)

消費者の信頼を確保するため、消費者等へ食肉関連情報の普及を図り、国産食肉等の生産、流通に関する情報交換会を行うとともに、表示講習会等を開催した。

(2) 食肉流通改善研究事業((公社)日本食肉協議会の助成事業)

新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、令和3年11月全国情報交換会議の開催を延期し、令和4年2月13日にリモートで開催し、事業推進部、ブロッ

ク活動報告、フランク・リベラ監督の映画「和牛コンフィデンシャル」（製作中）の一部試写を行ったほか、論文表彰を実施した。

さらに会員相互の情報交換・意見交換の重要性に鑑み、前年度に引き続きZOOMを活用しリモート会議を定期的で開催（計9回）するとともに、「食肉流通の課題とその対応 ～ウイズコロナ、アフターコロナにおける食肉販売戦略」をテーマに意見交換、論文募集を行い、報告書を取りまとめた。

（3）食肉検定事業

前年度、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、中止されたお肉検定試験は、全国のパソコン教室を活用した会場型C B T方式により再開されたことから、（公社）全国食肉学校と協力して、協会HPや協会ネットワークを通じ「お肉検定」の普及啓発に努めた。

なお、第10回（令和3年度）検定試験の実受験者数は1級1073名、2級240名であった。

（4）後継者育成・食肉通信教育事業

① 通信教育の補助

食肉の生産、流通、販売等に関する基礎的な知識を習得するため、（公社）全国食肉学校が行っている通信教育（「食肉流通業務実践コース」及び「食肉原価計数管理コース」）を受講するのに要する経費の一部を助成する事業を行ったが、該当者なし。

② 論文の募集と表彰

「ウイズコロナ、アフターコロナにおける食肉販売戦略」のテーマで論文募集を行ったところ、6会員から論文の提出があり、最優秀賞1点 優秀賞2点の表彰及び副賞の交付を行った。

（5）食肉情報等提供事業

① 食肉調査研究事業

ア 食肉価格調査

（一社）食品需給研究センターの小売店価格調査に協力して、調査店の募集・選定等を行った。

イ 新商品開発

新しい食肉関係製品を商品化し会員に普及するため、国内外の新しい食肉関係製品について調査、研究を行った。

ウ 最新食肉事情調査

先進地食肉事情調査については、国内外でのコロナ感染拡大の状況を踏まえ、中止とした。

② 食肉情報提供事業

会員に対して、協会の活動状況等を全肉連の発行する「全国食肉ニュース」を配布した。

また、協会のホームページの内容の充実を図り、情報の発信に努めるとともに、電子メールによる個人会員への迅速な情報提供を行った。

(6) 食肉関係製品斡旋対策

食肉販売の活性化の一助に資するため、会員に対して、食肉関係製品等を斡旋販売する事業を行った。

3. 総務関係

(1) 会議開催

① 令和3年度定時総会

・ 日 時 令和3年6月27日（日）13時より

・ 場 所 アジミックビル7F 会議室

・ 議 題

ア 報告事項

a 令和3年度事業計画及び収支予算に関する件

b 令和3年度借入金の最高限度額に関する件

イ 決議事項

第1号議案 令和2年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 令和3年度会費徴収方法に関する件

第3号議案 理事及び監事の報酬に関する件

以上すべて提案のとおり承認された。

② 理事会

1) 令和2年度 第1回理事会

・ 日 時 令和3年5月25日（月）

・ 場 所 書面による理事会

・ 議 題

第1号議案 令和3年度事業計画及び決算の承認に関する件

第2号議案 令和2年度事業報告及び決算の承認に関する件

第3号議案 令和3年度定時総会の招集に関する件

以上すべて提案のとおり書面にて承認され、定時総会に付することとされた。

2) 令和3年度 第2回理事会

・ 日 時 令和4年3月25日（木）

・ 場 所 書面による理事会

・ 議 題

第1号議案 令和4年度事業計画及び収支予算に関する件

第2号議案 令和4年度借入金の最高限度額に関する件

第3号議案 令和4年度定時総会の招集に関する事項

以上すべて提案のとおり書面にて承認された。

③ 監事監査

・ 日 時 令和3年5月14日（金）

・ 場 所 （一社）日本食肉協会事務所 アジミックビル2F

④ 事業推進委員会・支部長会議（ZOOM 会議）

| | | | |
|-----|------|-----------|-------------|
| 第1回 | 令和3年 | 4月21日（水） | 19：30～21：00 |
| 第2回 | 令和3年 | 5月19日（水） | 19：30～21：00 |
| 第3回 | 令和3年 | 6月23日（水） | 19：30～21：00 |
| 第4回 | 令和3年 | 7月28日（水） | 19：30～21：00 |
| 第5回 | 令和3年 | 9月 8日（水） | 19：30～21：00 |
| 第6回 | 令和3年 | 10月20日（水） | 19：30～21：00 |
| 第7回 | 令和4年 | 1月19日（水） | 19：30～21：00 |
| 第8回 | 令和4年 | 2月13日（日） | 14：00～15：00 |
| 第9回 | 令和4年 | 3月16日（水） | 19：30～21：00 |

（2）協会・事務局及び会員の現況（令和4年3月31日現在）

①役員

令和4年3月31日現在の理事・監事数

理事 20名、監事 2名

③事務局 2名

④会員数 合計273

| | |
|----------|------|
| 1) 団体会員数 | 56団体 |
| 食肉関係中央団体 | 11団体 |
| 都道府県肉連 | 45団体 |
| 2) 個人会員 | 217名 |

貸借対照表

令和4年3月31日現在

一般社団法人日本食肉協会

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|-------------------|-----------|-----------|----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 95,825 | 117,240 | △ 21,415 |
| 普通預金 | 5,499,226 | 5,438,233 | 60,993 |
| 未収入金 | 1,394,314 | 1,423,115 | △ 28,801 |
| 流動資産合計 | 6,989,365 | 6,978,588 | 10,777 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1)その他固定資産 | | | |
| 電話加入権 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 固定資産合計 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| 資産合計 | 7,089,365 | 7,078,588 | 10,777 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 1,318,107 | 1,252,985 | 65,122 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 預り金 | 33,699 | 33,906 | △ 207 |
| 流動負債合計 | 1,421,806 | 1,356,891 | 64,915 |
| 負債合計 | 1,421,806 | 1,356,891 | 64,915 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 一般正味財産 | 5,667,559 | 5,721,697 | △ 54,138 |
| 正味財産合計 | 5,667,559 | 5,721,697 | △ 54,138 |
| 負債及び正味財産合計 | 7,089,365 | 7,078,588 | 10,777 |

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

一般社団法人日本食肉協会

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 受取会費 | 4,521,000 | 4,511,000 | 10,000 |
| 県肉連会員 | 900,000 | 900,000 | 0 |
| 団体会員 | 1,100,000 | 1,100,000 | 0 |
| 個人会員 | 2,521,000 | 2,511,000 | 10,000 |
| 受取補助金等 | 1,394,314 | 1,423,115 | △ 28,801 |
| 全肉連事業助成金 | 1,183,357 | 1,252,985 | △ 69,628 |
| 日本食肉協議会事業助成金 | 210,957 | 170,130 | 40,827 |
| 事業収益 | 1,716,000 | 1,694,000 | 22,000 |
| 食肉検定事業委託金 | 0 | 0 | 0 |
| 価格調査事業委託金 | 1,716,000 | 1,694,000 | 22,000 |
| 雑収益 | 170,048 | 340,047 | △ 169,999 |
| 受取利息配当金 | 48 | 47 | 1 |
| その他 | 170,000 | 340,000 | △ 170,000 |
| 経常収益計 | 7,801,362 | 7,968,162 | △ 166,800 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 小売機能高度化推進費 | 1,183,357 | 1,252,985 | △ 69,628 |
| 流通改善研究費 | 246,617 | 206,250 | 40,367 |
| 給料手当 | 2,066,400 | 2,066,400 | 0 |
| 法定福利費 | 352,737 | 318,710 | 34,027 |
| 福利厚生費 | 60,000 | 70,455 | △ 10,455 |
| 会議費 | 60,132 | 0 | 60,132 |
| 旅費交通費 | 152,460 | 152,860 | △ 400 |
| 通信運搬費 | 394,393 | 361,424 | 32,969 |
| 消耗品費 | 44,200 | 14,698 | 29,502 |
| 印刷製本費 | 92,400 | 92,400 | 0 |
| 新聞図書費 | 59,400 | 59,400 | 0 |
| 光熱水料費 | 172,286 | 187,002 | △ 14,716 |
| 賃借料 | 1,164,950 | 1,162,771 | 2,179 |
| 役員費 | 0 | 110,034 | △ 110,034 |
| 支払手数料 | 9,768 | 15,455 | △ 5,687 |
| 諸謝金 | 1,446,000 | 1,487,500 | △ 41,500 |
| 支払負担金 | 160,000 | 160,000 | 0 |
| 租税公課 | 70,400 | 70,800 | △ 400 |
| 雑費 | 120,000 | 130,000 | △ 10,000 |
| 経常費用計 | 7,855,500 | 7,919,144 | △ 63,644 |
| 当期経常増減額 | △ 54,138 | 49,018 | △ 103,156 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 54,138 | 49,018 | △ 103,156 |
| 一般正味財産期首残高 | 5,721,697 | 5,672,679 | 49,018 |
| 一般正味財産期末残高 | 5,667,559 | 5,721,697 | △ 54,138 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 5,667,559 | 5,721,697 | △ 54,138 |

財務諸表に対する注記

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 令和2年5月15日最終改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

1. 重要な会計方針

(1) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理をしています。

2. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当する債権はありません。

3. 保証債務等の偶発債務

保証債務等はありません。

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末 残 高 | 当 期 増加額 | 当 期 減少額 | 当期末 残 高 | 貸借対照表上の 記載区分 |
|---------------|---------------|------------|------------|------------|------------|-----------------|
| 食肉小売機能高度化推進事業 | 全国食肉事業協同組合連合会 | 0 | 1,183,357 | 1,183,357 | 0 | |
| 全国食流通改善研究事業 | (公社)日本食肉協議会 | 0 | 210,957 | 210,957 | 0 | |

5. 関連当事者との取引の内容

該当する関連当事者はいません。

6. 重要な後発事象

重要な後発事象はありません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当無し

2. 引当金の明細

該当無し